

-3 -4 -5 -6

-8

S規格の耐

比べて3―5倍の長寿一いる」と期待している。

従来材(SCH22)に 品でも実機で品質など い腐食環境下にあるバ 火格子とともに、厳し

てニーズがあるとみて ており、他分野を含め する問い合わせが増え るため、当社製品に対 ば稼働率低下につなが が激しく、これが進め 焼却施設は摩耗と腐食 オマス発電設備、ごみ 成瀬正社長は、「バイ

を確認・評価しており、 イオマス発電ボイラ部

__600°C) の耐熱鋼を用いても部材が極端に摩耗する、ごみ焼却炉向けに照進 「EGNIS(イグニス)」を開発し、本格的に市場投入する。 既存

が加速する特徴があ るため、腐食スピード 保護スケールを破壊す している耐熱鋼表面の 塩はクロムなどで形成 あることが判明。溶融

| え頻度の抑制、ランニ

用した場合には取り替

NIS」を火格子に

ことを確認した。「EG の長寿命化を実現する 熱鋼に比べて3-4倍

「EGNIS」 は当

NIS」は2019年

メリットがある。「EG

ングコスト低減などの

と「SCH22」の腐食比較 年間、使用温度=500— ごみ焼却炉は一般ご | は、 は年間5億―6億円の売り上げを目指す。 を合わせてアピールを強化する。 国内には1000基程度のごみ焼 **郊施設があるとみられており、 拡販を進めることで、 中・長期的に**

れらが燃焼するまでの 良く焼却するため、こ 700-900° 産業廃棄物を効率 に由来する腐食が著し 鋼 (SCH2、SCH に製造されるが、塩素 13、SCH22) を素材 、JIS規格の耐熱 | るケースが見られ、平 いる。 り替える必要が生じて |均的には1-2年で取 同社は腐食した火格 | ロムやニッケル、モリ | ぐバイオマスボイラー 初、塩素ガス腐食を防

「EGNIS340」 定

| く、処理環境などによ

一子の表面に付着してい

って状況が異なるもの

際に用いられる火格子一 みの乾燥と燃焼を行う 乗せて乾燥させる。ご に熱せられる火格子に

度で摩耗や割れが生じ一塩の代表的な化合物で

の

取り付け後半年程

た結果、付着物は溶融 た燃焼生成物を分析し

● EGNIS340

適材料提案や火格子の

命化を確認している。

形状提案も推進する。

について、ごみ焼却炉 同社は「EGNIS

インアッ プ。溶融塩 タイプをフ

行い、 JI に働くこと 腐食に有効

用部品として開発。 8月に特許出願済み。 新報国製鉄は同社の

研究スタッフが焼却炉 を視察して状況を確認

ルすることで、合金鋼 の添加量をコントロー ブデンほか、一部元素 すると同時に、腐食が 進行している火格子を

含有量30%弱-70%弱 (このうち、クロム含 分析。ごみ処理施設の

一合わせて、需要家に最

有量は15-30%)の5

使用環境や損傷状況